

令和8年度の検討項目について

令和8年8月6日
消防庁予防課

背景及び趣旨

令和7年度の「火災予防の実効性向上検討部会」で、高度・専門的業務における広域連携に関する検討を行い、本年3月の中間取りまとめにおいて、下記のとおり令和8年度の検討の方向性、課題等が示された。

➤ これまでの消防庁の支援事業に加え、次の方向性で検討することが適当

- ・ より円滑な消防本部間の橋渡しを行う
- ・ 統計データに基づく合理的なマッチングを行う
- ・ 長期派遣制度等による技術の底上げを図る

➤ 立入検査の実施状況及び違反是正の取組状況に課題

- ・ 業務量の増大等を背景とした立入検査実施率の低下
- ・ 消防本部間における立入検査実施率の格差
- ・ 違反是正体制の脆弱性による違反の長期未是正

→ 広域連携及び立入検査・違反是正の実効性向上について、本部会において引き続き検討を行うもの。

①予防業務に関する消防庁の支援事業の改善・拡充等について

- ・現状の支援業務の改善及び新たな支援業務の拡充の必要があるのではないか。

②立入検査・違反是正の実効性の向上について

- ・全国的な運用の均質化を図るとともに、**立入検査・違反是正の実効性の向上**を図る必要があるのではないか。
 - 消防本部ごとに異なる立入検査の実施計画について、防火対象物の個別の状態（用途、規模、点検報告や訓練の履歴等）に応じた**リスクベースドアプローチ**を導入
 - 立入検査以外の効果的・効率的な実態把握の方法や、防火対象物の関係者とのコミュニケーション等
 - 違反が是正されるまでの期間について、**違反の類型等**に応じた標準的な目安

※各項目の詳細は資料2及び資料3を参照

検討スケジュール（予定）及び検討部会の体制

検討スケジュール

令和8年7月2日	第1回予防行政のあり方に関する検討会
令和8年8月6日	第1回予防業務の実施体制に関する検討部会
令和8年10月下旬～11月上旬	第2回予防業務の実施体制に関する検討部会
令和9年2月上旬～中旬	第3回予防業務の実施体制に関する検討部会
令和9年3月上旬	第2回予防行政のあり方に関する検討会

予防業務の実施体制に関する検討部会

○委員

<学識経験者>

木作 尚子 名古屋大学減災連携研究センター 特任准教授
中川 丈久 神戸大学大学院法学研究科教授
水野 雅之 東京理科大学大学院創域理工学研究科国際火災科学専攻教授
森山 修治 日本大学非常勤講師（元日本大学教授）

<消防機関等>

相澤 孝一 都道府県消防防災・危機管理部局長会 予防部会長（青森県危機管理局 消防保安課長）
神原 祥司 横浜市消防局予防部指導課長
北野 貴之 千葉市消防局予防部予防課査察対策室長
長谷川 崇 大阪市消防局予防部査察担当課長
松岡 信幸 盛岡地区広域消防組合消防本部予防課長
山田 正人 京都市消防局予防部予防課長
山橋 大輔 東京消防庁予防部査察課長

○オブザーバー

全国消防長会 事業部
日本消防設備安全センター

<事務局>

消防庁予防課